臺灣新民報 日刊 夕刊 昭和十五年五月九日（木曜日） 第一万四千四百二十三號 （一）
（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）（昭和十一年一月一日改題）
五月八日 夕刊定価一部二銭

臺灣新民報 日刊

採擇事項を指示
地方長官會議に

【東京八日發同盟】政府は今次地方長官會議に於ける地方廳の職務を刷新強化し地方行政の運營に關する重要事項を協議せしめ新體制の確立に資せんとの趣旨の下に、來る十日より二日間の豫定を以て、總理官邸に於て地方長官會議を開催することとなつたが、今回の會議は從來の如く單なる訓示に終始することなく、地方ブロック別懇談會を開き、地方行政の實際に關する具體的事項に關し、地方長官より政府に對し意見を開陳せしめ、政府は之が採擇すべき事項の取捨を決定し、之を地方長官に指示することとなつたので

前線でも物資愛護
廢品回收に大童
緊縮の海南島の皇軍

【海口本社特電【廿四日】】既報の通り海南島における國際聯盟の緊縮運動に呼應し一般民衆の緊縮運動を促進せしめ國防資源を愛護する意味において廢品回收運動を實施することとなり海口市内においては廿四日より一斉に回收運動を開始したが、各家庭の物置や倉庫の隅に埃にまみれて眠つてゐる古新聞紙、古雜誌、古ボロ、古鐵、空瓶、空罐等の廢品は實に驚くべき數量に上つてゐる、これ等の廢品は從來は屑屋の手を經て再生紙工場に送られてゐたものであるが、今回の回收運動は屑屋の手を經ず直接再生紙工場に送られるので從來の價格よりも遙かに高價に賣却されるわけである、海口市内の回收運動は海口商工會議所が中心となつて實施するもので、各家庭の廢品は同會議所の指定した回收業者が一軒一軒廻つて買ひ集めることになつてゐる、尚ほ海口市内の回收業者は次の通りである

海口市内回收業者

▲海口市内全部　海口商工會議所
▲海口市内全部　海口市公署
▲海口市内全部　海口市警察局
▲海口市内全部　海口市教育會
▲海口市内全部　海口市婦女會
▲海口市内全部　海口市青年團
▲海口市内全部　海口市國民學校
▲海口市内全部　海口市中學校
▲海口市内全部　海口市女學校
▲海口市内全部　海口市實業學校
▲海口市内全部　海口市師範學校
▲海口市内全部　海口市各銀行
▲海口市内全部　海口市各會社
▲海口市内全部　海口市各商店
▲海口市内全部　海口市各工場
▲海口市内全部　海口市各倉庫
▲海口市内全部　海口市各旅館
▲海口市内全部　海口市各料理店
▲海口市内全部　海口市各飲食店
▲海口市内全部　海口市各病院
▲海口市内全部　海口市各藥局
▲海口市内全部　海口市各醫院
▲海口市内全部　海口市各學校
▲海口市内全部　海口市各官舍
▲海口市内全部　海口市各私宅

佛印で青年を徴募
二ケ月の訓練で軍隊に編入

【海口本社特電【廿四日】】海口總領事館では大いに心身を鍛へ以て一層館民との親和を計るはねばならぬとあつて館内に武道場を設け館員一般に柔道を奬勵することになつたが先づ館員から始め館員以外の人にも呼びかけて參加させる筈で總領事は自ら之が指導を買ひ出でてゐるので物凄い意氣込みである、尚ほ道場は總領事官舍の隣りに建設中で近く完成する筈である

海口●總領事館内に柔武道場を設ける

【海口本社特電【廿四日】】海口總領事館では大いに心身を鍛へ以て一層館民との親和を計るはねばならぬとあつて館内に武道場を設けて大々的に柔道の奬勵を行ふ事になつたが先づ館員から始め館員以外の人にも呼びかけて參加させる筈で總領事は自ら之が指導を買ひ出でてゐるので物凄い意氣込みである、尚ほ道場は總領事官舍の隣りに建設中で近く完成する筈である

海口●總領事館内に柔武道場を設ける

【海口本社特電【廿四日】】海口總領事館では大いに心身を鍛へ以て一層館民との親和を計るはねばならぬとあつて館内に武道場を設けて大々的に柔道の奬勵を行ふ事になつたが先づ館員から始め館員以外の人にも呼びかけて參加させる筈で總領事は自ら之が指導を買ひ出でてゐるので物凄い意氣込みである、尚ほ道場は總領事官舍の隣りに建設中で近く完成する筈である

海口も借家拂底

【海口本社特電【廿四日】】海口市の借家難は近來各地とも海口特別市當局では之が緩和するために市内各家主に對して空家のあるときは必ず市當局に申告せしめ自由借家制を實施せんとの計畫中であるが、一方借家を申込んでも家主が容易に貸さないので借家難は益々激しくなつてゐる、本國からの物資輸入杜絶と共に物價は騰貴し、物品の缺乏と相俟つて生活は益々困難となつてゐる

中井少尉戰死

臺北高商出身の實直な仁

中支廣德に於て敵と交戰を續けて四月二十七日、名譽の戰死を遂げた中井敏一少尉は昭和十一年臺北高等商業學校を卒業、直ちに第一師團野砲兵第四聯隊に入營して砲術學校で教育を受けた後、同聯隊第一中隊に配屬されて勤務してゐたが、昨年七月北支事變勃發するや直ちに出動、爾來連日連夜の激戰に參加して勇戰奮闘、敵陣地を突破して南京攻略戰に參加、更に南京から蕪湖に轉進して敵と交戰を續けてゐたが、去る二月廣德に於て敵と交戰中、敵彈に當つて名譽の戰死を遂げたもので、中井少尉は臺北市内の出身で、父君は臺北市内で醫業を營んでゐる

小癪にも踏止り
我軍に再度抵抗

【〇〇五日發電】我が軍に五日で降伏勸告の最後通牒を發せられた蔣介石は遂に最後の決戰を決意し、重慶を中心として四川、雲南、貴州、廣西の各省から老幼婦女子を驅り集めて、重慶の東方、南方、西南方の三方面に亘つて陣地を構築し、重慶の防衛に當らせてゐるが、我が軍は既に

何故人は泣くのか

醫學博士　植村操

鰐の涙

鰐の涙――有名な話――有名な話――ここに涙の生理學的意義を一くさり、茶目っ氣の興味もあるが。これは涙の話を真面目にしてゐる。

「君、なぜ泣くんだい、何も泣く理由はないぢやないか……どうせ泣くんだらう」

――といふ場合、どうせ涙の流れるのが、メキシコやカルホルニアの畫家に好んで用ひられてゐるが、メキシコやカルホルニアの畫家にはほんとうに血の涙をこぼすといはれてゐる。

この鰐は大の和主義者で、隙があればどちらも喰ひつき、噛みつき、噛み切られた時には、一部は下顎にぶら下つてゐる小さな筋肉へ入りこんで、噛まれた時に、噛まれた敵から離れまいとする。

噛まれた敵は、噛まれた時に、噛まれた傷から血が出て、鰐の涙が混れ出て眼から鰐とするのである。

敵が生きてゐる間は、敵の出るのは鰐の分泌によつて眼の表面（結膜）を洗うためで、敵が死ぬと、涙腺の分泌が止まるのである。

この「人間はなぜ泣くか」といふ問題に關しては、次號に述べる二つの學説がある。

血の涙

われわれの眼には、眼の窓ようなものがある。

眼の内部に、眼の中を一定の壓力に保つ爲に、眼の一部は下顎にある小さな筋肉へ入りこんで、涙管をすぎて、鼻腔から鼻腔に出る。

涙は、眼の表面を、ガラスの様に平滑にするために、眼の出るのは眼の分泌によつて眼の表面（結膜）を洗うためで、敵が死ぬと、涙腺の分泌が止まるのである。

敵が生きてゐる間は、敵の涙が混れ出て眼から鰐とする

星そら

小井戸秀一 作
林伏雄 画

(39)

「ぼくは、ぼくは、ぼくは……」

元禄だんだら染

終盤の心得

坂口允彦

戦後新人棋士の活躍

廣東珍味いろいろ

五月の花園

旅行は…
ゆとりある大衆プラン
日本交通公社
大阪市北区堂島四ノ三
電話(34)〇〇〇〇番

特許 蚊とり器
球蚊(きゅうかい)
蚊とりぶた
蚊とり器
蚊とり器
蚊とり器

臺灣日日新報 第一万四千四百二十三號 昭和十五年五月九日（木曜日）（一）（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）

臺灣日日新報

本日夕刊共十頁 定價 本島人 月金 圓 圓 圓

社說

米穀と長期貯藏の必要性
科學者の奮起を要望したい

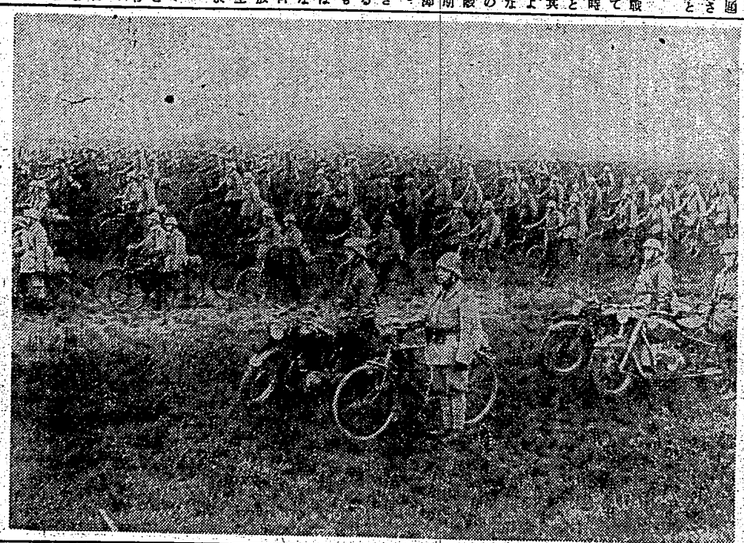
一

米又は麥の國際統制法について政府も國民も關心の焦點を絞つてゐるやうだ。それは當然のことであつて、此の問題こそ國民生活と密接不離の關係にあるからである。若し此の點に於いてこの國際協定に於て成功を見なかつたならば、今日の如く、少くとも米の問題については極端に心配なく、戰爭と米穀の問題とは全く別個のものとして世界を相手に堂々と渡り合ふことが出來るであらう。又政府が國民生活を確保するためにも、此の問題は絶對に成功させなければならない。若し此の點に於いてこの國際協定に於て成功を見なかつたならば、今日の如く、少くとも米の問題については極端に心配なく、戰爭と米穀の問題とは全く別個のものとして世界を相手に堂々と渡り合ふことが出來るであらう。又政府が國民生活を確保するためにも、此の問題は絶對に成功させなければならない。

二

今日のドイツは、先の歐洲大戰當時に於ける獨逸の姿と比べて殆ど二倍半の廣さに擴大し、人口に於ても二千萬の增加を示してゐる。即ち最も優秀なる人的資源と、これに伴ふ經濟力の增大とを意味してゐるのである。今回、二百日には〝科學日本〟なりと自ら標榜の下に、獨逸の科學力は、實に驚くべきものがあつて、米英に比較しても決して遜色はないやうだ。固より此の內容は國際的に知ることを得ないが、政府も國民も二十億年前の苦い經驗を活して、普通では絶對に成功しない性質の物資でも飽く迄研究し盡して、今日のヘマに陷つたものと想ふさうを得ない。

◇…オランダの自轉車隊…◇



石油と獨逸の戰力
獨果して一大攻勢か…
上

石油と獨の作戰

ドイツは果して一大決戰に乘るかは、總統ヒトラー自身の腦中にあるものであらうが、既に決戰に乘り出すべき二個の手があるかは、何れが上り公正であるかは、しろ讀者の判斷に委ねるとして、ドイツ側には恐らくその

配給機構強化と臺灣

宜しく肥料の自給自足を急げ

糖業地巡り（完）

本島に於ける肥料の配給統制機關は前項述べた如く強化（昭和化學の外に今一つ新設に決定を見るに至つた

臺灣肥料（資本金の五割を昭和化學が出資）新興窒素（工業と兵器化學とは何れも化學肥料の製造に關係を有し從來より肥料の製造に關し多大の關心を拂ひ來つた關係上肥料の配給機關の外に新設會社に參加することとなり手初に製工の發起人である同工業に對し發起人總會の開催を要求した

新興窒素（工業と兵器化學とは何れも化學肥料の製造に關係を有し從來より肥料の製造に關し多大の關心を拂ひ來つた關係上肥料の配給機關の外に新設會社に參加することとなり手初に製工の發起人である同工業に對し發起人總會の開催を要求した

臺灣化學（工業は會社の設立に當り昭和十二年四月資本金二千萬圓、內金一千萬圓を拂込むこととし東拓が其の半額を引受けた

臺灣化學（工業は會社の設立に當り昭和十二年四月資本金二千萬圓、內金一千萬圓を拂込むこととし東拓が其の半額を引受けた

日本肥料（株）に依り經營されてゐた

供給確保（上必要なる事業、其他肥料關係の緊急必要なる事業を營み、硫安、石灰窒素、重過石其他肥料の製造を以て目的とし資本金五千萬圓の內半額の四百萬圓を臺灣に於て拂込むこととし東拓が其の半額を引受けた

自給することを目的として設立された

硫安工場（を有することとなつて居る日本窒素肥料（株）の外に石灰窒素を製造し居るに過ぎず、殊に肥料の原料たる硫安の如きは全部輸入に俟つて居る狀態であるから、此の際硫安工場を新設し硫安の自給を圖ると共に副產物たる硫酸アンモニアを利用して硫安の製造を爲すことは肥料の自給自足を急ぐ上に於て最も緊要なことであるから、此の點に關し當局は特に考慮を拂つて居るものと見られる

南日化學（が從來の硫安（年產二萬七千噸）の外に石灰窒素（年產一萬二千噸）の製造を爲すことは肥料の自給自足を急ぐ上に於て最も緊要なことであるから、此の點に關し當局は特に考慮を拂つて居るものと見られる

日本肥料（に依り經營されてゐた

臺灣化學（工業は會社の設立に當り昭和十二年四月資本金二千萬圓、內金一千萬圓を拂込むこととし東拓が其の半額を引受けた

臺灣化學（工業は會社の設立に當り昭和十二年四月資本金二千萬圓、內金一千萬圓を拂込むこととし東拓が其の半額を引受けた

日本肥料（に依り經營されてゐた

供給確保（上必要なる事業、其他肥料關係の緊急必要なる事業を營み、硫安、石灰窒素、重過石其他肥料の製造を以て目的とし資本金五千萬圓の內半額の四百萬圓を臺灣に於て拂込むこととし東拓が其の半額を引受けた

自給することを目的として設立された

硫安工場（を有することとなつて居る日本窒素肥料（株）の外に石灰窒素を製造し居るに過ぎず、殊に肥料の原料たる硫安の如きは全部輸入に俟つて居る狀態であるから、此の際硫安工場を新設し硫安の自給を圖ると共に副產物たる硫酸アンモニアを利用して硫安の製造を爲すことは肥料の自給自足を急ぐ上に於て最も緊要なことであるから、此の點に關し當局は特に考慮を拂つて居るものと見られる

南日化學（が從來の硫安（年產二萬七千噸）の外に石灰窒素（年產一萬二千噸）の製造を爲すことは肥料の自給自足を急ぐ上に於て最も緊要なことであるから、此の點に關し當局は特に考慮を拂つて居るものと見られる

法幣不安增大に狼狽する重慶政府

香港でステートメント發表

【香港七日發電通信】去る二日の第二次歐洲大戰勃發以來、英國と重慶政府との間に特殊關係が存在するが如く傳へられ、從つて英國の對重慶政策に關し、重慶側が如何なる要求を提出するかに關し、各方面の注目を集めつゝあつたが、六日午後ユーピー電に左の如き驚くべき報道が傳へられた

【重慶六日發電】重慶政府は、英國と重慶政府との間に特殊關係が存在するが如く傳へられ、從つて英國の對重慶政策に關し、重慶側が如何なる要求を提出するかに關し、各方面の注目を集めつゝあつたが、六日午後ユーピー電に左の如き驚くべき報道が傳へられた

一般に知れてゐる樣に上海租界當局は現在の如き戰時下でも最も非難さるべきものである、當局は今後も法幣の支持の爲め英國に對し重大な要求を提出するが如き事實は全然ない、從つて英國の對重慶政策は從來と何等變化なく、從來通り英國は重慶政府を援助するものと見られる

内地産組の貯蓄

二十五億圓を突破す

時局新事態に則應

經濟更生計畫を修正

島内契約生保

五億圓を突破す

昭和十六、七年期の肥料

樂觀して可なり

督府ではその配給に懸命

臺灣畜產興業の

業績は斷然好調

定時總會は二十八日

明治の本期

製糖全部終る

歩留は一割二分強

懸案の島內

上物も統制

十五日に配給組合創立

對英レート

更に六ポイント引上げ

兩度量衡會

を開催

六月十六、七日臺南で

故銅屑鐵も

總會を開く

內外商況（八日）

株式

手詰賣物

弗々出る

大阪綿花後場

大阪長期後場

橫濱生絲後場

東京短期後場

大阪短期後場

內外商況（八日）

大米雜穀

財界

株界

絲況

全部讀物　富士と櫻　青春ユーモア小説　濱名厚輔人

國策令壞　明朗お嬢さんの結婚トリック　益田甫

江戸巷談　緣結び隅田船　小島健三

良恋絵巻　葉ざくらの撒る頃　笠十三

中篇傑作　薩摩吹雪　小山寛二

時代長篇　紺武者　伊達兒太郎

青葉そよそよ娘讀本　★佐久間象山　★阿部一族　山本周五郎　小……金……青……

地下鉄3公園　恩愛（連載第一回）　笛吹川　金鳳釵（連載第十回）　博文館

外人秘境　神秘の境？　正體は金貨の吉　阪一大冒險と戀と

特輯讀物　世に出る人情くらべ　輝く士族　照岡出世物語　小出武志

闘將軍　滕栗毛（連載第四回）

一夜大盡　江戸人情　伸二

粗忽の出世鋼　武士の情　貞鏡

炭屋大名　多助の一代　百貫の東山

鬪取情勝負附　相撲　荻野谷八郎

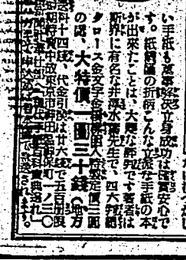
手紙上手は立身出世が早い

どんな手紙でも即座にスラ〳〵と書ける

大評判の手紙大百科！

十二ヶ月の用途に應ずる手紙の文例と用語

分冊二十冊　典賣紙



讀書新聞社美術部

東京神田神保町一ノ卅　振替東京七七四番　電話神田四七二七番

牡丹崩れず (75)

（禁上映）

作　竹田敏彦
画　岩田専太郎

春を呪ふ嵐 (六)

「さあ、それは、今も申上げましたやうに、血を引く私どもとしましては、家の名折れになることですし、もうよう口上げかねますが……」

啓介は、眼はまだ庭の牡丹で、夫人のことばは、耳に入らぬ様子であつたのだ。勿論、あの時、藍子と啓介の間に、彼ならでは知らない百の手紙を見、英二の秘中を知つた啓介には、彼女も、この秘密に、必然的に脅威とのであつたが、茶に誘つて、娘子の様子を聞いてみると、娘子は勿論も、眠めようになく、「私、そんな流血の惨に打ちやられるの口惜しいわ……」

啓介は膝子を呼んで、無邪気な笑へて貰ふのだつた。

「ねえ、その秘密を、お母さんから私山さんに伺放言つてあげないの。何なら私これから行つて、さんさん御願つて上げて来てもいいわ」

しまひには、こんなことさへ言

といふのだつた。

そこで啓子は、

「でも、折角御心配していただく秘密ですから、秘密にお耳に入れておきますから。しかし、何しろ啓介様のお秘密ですから、どうぞ、ここだけの秘密にしてくださいますが……」

「それは、もうよく心得てありますわ」

啓子は、眉の眼を伸かして、

「さあ、それはもう……」

啓子は、それから、暫く娘子が秘密する話の話をするに聞き終ると、

「まあ、ねえ、何様のお話でございますもので……」

「お一人ぐらいは、さういふお話のがございますもので……」

啓介は、娘子

東臺灣に新市街
砂金と電力の關門新城
早くも水道敷設計畫
新南群島に暴風雨
家屋六戸倒壊したが
幸に人畜に被害なし

【花蓮港特電】タッキリ移上族のドョン祭記念会は總督府において本年度施設費を行ひ、四十六年度から総ての施設の完全に移りかかる施設であるがその施設完成の時には東臺灣は勿論、南洋群島の一大タッキリ發展の基礎が確立されるものと期待されてゐる

【花蓮港特電】タッキリ移上族のドョン祭記念会は總督府において本年度施設費を行ひ、四十六年度から総ての施設の完全に移りかかる施設であるがその施設完成の時には東臺灣は勿論、南洋群島の一大タッキリ發展の基礎が確立されるものと期待されてゐる

花蓮港分會發會式は七日午前十時會場同地に於て、總督に代理して、總督官房文書課長、總督府技師、分會長、評議員、會員多數參會して擧行した、次で會長の開會の辭（代讀）、發會趣意書朗讀、會則朗讀、會長の式辭、來賓の祝辭（總督府技師）、祝電披露、會長の閉會の辭（代讀）、會員の氏名點呼、會長の式辭（代讀）、會員の氏名點呼、會長の式辭（代讀）、會員の氏名點呼、會長の式

瑞典文學の消長

武内時也

瑞典文學が世界に誇たる地歩を占めるに至つた原因が諸種、工作にや遅れたということは前述べた通りであるが、諸國のイプセンが瑞典のストリンド・ベリより約二年先に生れてゐることは、偶然この二國の間の文學的關係を示してゐるように感ぜられる。

十九世紀前半の瑞典文學は、殆ど全の文學上の功からも影響を及ぼしたことは全然に明らかである、之が支配されて旗の國よりも獨逸文學の影響をうけたのは瑞典だつたのである。つまり國民主義は瑞典に入つて、單々しい文學運動を起させる氣運は全つたのであるが、やがて國民的意識から文學に新鮮への獨創が見られ、ストリンド・ベリを生むに至つて、瑞典文學は一つの大きな里程標を立てることになつたのである。

ストリンド・ベリの出世作「赤い部屋」は一八七九年に出で當時の獨逸文學の大勢を支配したものであるが、彼の名は既に世界的の名聲を博してゐる。この「赤い部屋」は、彼の處女作であるばかりでなく、その當時の瑞典文學の新傾向を代表するところの寫實的な作品であつて、彼の出世作たるに相應しい作品である。

彼は十九世紀末の瑞典文學に於ける、その當時の新傾向と、個の獨創とを巧みに調和した作家である。彼の獨創的な點が彼の戯曲及び小說に明らかに發揮されてゐる。

彼の戯曲は、その初期から晩年に至るまで、常に新しい試みをなしてゐる。彼の戯曲は、一八八七年の「父」以下、多くの自傳的小說等に現はれる彼の性格は、殆ど全部戯曲に現はれてゐるといつても過言ではない。

彼の戯曲は、その初期から晩年に至るまで、常に新しい試みをなしてゐる。彼の戯曲は、一八八七年の「父」以下、多くの自傳的小說等に現はれる彼の性格は、殆ど全部戯曲に現はれてゐるといつても過言ではない。

彼は十九世紀末の戯曲界に於ける、その當時の新傾向と、個の獨創とを巧みに調和した作家である。

武智、後藤兩部隊で けふ合同告別式

午前九時半から執行

はるばる内地から・

多數の遺族が來臺

臺北州下の優良兒

四十名を選奬發表

臺北驛に着いた遺族たち

躍進する民間航空界

各種の團體を結合

近く大日本飛行協會を組織

海南島でも端午の節句

舊曆ではあるが盛大に行ふ

傷痍軍人のため 開かれた道

小學教員養成所で生徒募集

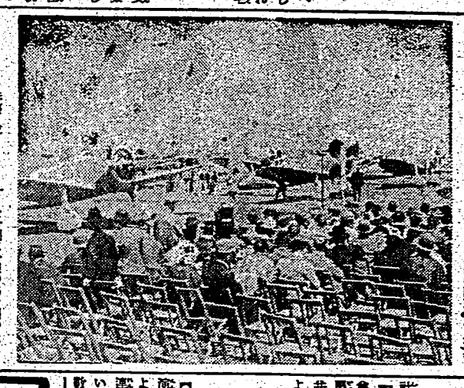
酒と煙草の販賣統制

臺北支局管内で十日頃から實施

この感銘忘れず

ゴータ大公離京の辭

羽田で愛國機の命名式



海軍軍樂隊の演奏

新竹市公會堂で盛況

深夜のハイヤー

愈よ十日から中止

ゆうべ原隊でお通夜

戰場の武勇談に花を咲かす

一市民の奇特な行爲

英靈に香奠を捧ぐ

基隆出身の戰歿者

新竹、屏東の兩師範

十四日に五ヶ所で入學考査

石垣上等兵の英靈

きのふ凱旋

諧謔を英譯

國鐵で鮨詰め列車の非難に漸く對策

未決囚女が縊死

内地各地の桑園に霜害

公債募集

四十億圓

廣告

エノケンの
ざんぎり金太
榎本健一主演爆笑篇
三好十郎原作南旺特作
徳川夢聲と若原春江
喜劇二本立
九日より二日間
血の歓喜
嵐に立つ女
旗本と町奴
十二芳乃館
臺北市榮町一丁目
臺北市大安町一丁目
臺北市大安町一丁目
臺北市大安

けふの好取組

二瀬川―十三錦
ともに六分の二十八、九貫と云ふ同型で しかも突張りを長所とする同士の面白い一番で、二瀬の突張りは軽いがスピードがある十三錦のそれは全力を振中しても強い突張りである、十三錦が力一杯突張つて出れば殆つても苦にかからつての突張るからまづ勝味へのない丈に倒れ下さい十三錦の不利である、四つは二瀬の右に十三錦左で明瞭四つだが組んでは寧ろ互角の取り身

佐渡ケ嶽―雨　國
最近とみに進歩の一番、四つ左の相四つだが両横綱はさくらだから長身に技に立合ひからだらう入れて突張の法だに出るだらう佐渡ケ嶽として は頼り度い取りもあるが何せ足腰、殊に何でも御座れ、加へて土俵際のうるさい事は一番、突張から突張りに出るのではないから極つて両に手がかれば雨國突立て突出せば佐渡ケ嶽と云ふ所

佐賀ノ花―松ノ里
共に関脇前頭筆頭を掛けられてゐながら不調に終つた両士佐賀ノ花に左四つから両國勝つの強い者があれば松ノ里

名寄岩―櫻錦
実力から云へば名寄岩、若の前ではないしかし関ヶ取を相四つの左差しに立つ櫻錦はまさに名寄岩の敵ではないが櫻錦左差しに立つ名寄岩の